

えひめ教育の日 実施状況

えひめ教育の日とは

愛媛県では、県民総ぐるみで教育について考え、行動する契機となる日として「えひめ教育の日」（毎年11月1日）、「えひめ教育月間」（毎年11月）を制定し、学校や行政だけではなく、家庭や地域などが一体となって、教育の推進を図ることとしています。

今年度、本校では、「えひめ教育月間」中の行事として、人権・同和教育講演会、保育園での体験学習、公開授業を実施しました。

事業名	人権・同和教育講演会
日時	平成30年11月9日（金）
場所	愛媛県立宇和島東高等学校体育館
参加者	保護者、一般来場者、本校生徒、本校職員など約900名が参加

毎年、11月に人権・同和教育の一環として、講演会を行っています。
 本年度は、宇和島市立城東中学校校長 山本浅幸先生をお招きして開催いたしました。御講演では、「ふみ出す一歩～人権同和教育が教えてくれたこと～」の演題でお話をお聞かせいただきました。山本先生御自身の教員生活と、人権同和教育との深い関わりをお話しいただき、生徒・教職員ともに「自分から一歩踏み出し、行動を起こすことの大切さ」を感じると共に、山本先生の熱意溢れる教育活動に大変感銘を受けました。
 御講演いただいた後には、山本先生を囲んで人権委員会学習会を行いました。山本先生に疑問や悩みを聞いていただくことで人権問題への向き合い方を学ぶことができました。



事業名	保育園での体験学習
日時	平成30年10月29日（月）～ 11月1日（木）
場所	立正保育園、尾串保育園
参加者	1年理数・普通科、2年商業科Ⅱ型、3年商業科Ⅰ型

保育園での体験学習は、園児の元気いっぱいの自己紹介から始まりました。初対面の子どもたちとお互い慣れるために、手をつないだり、抱っこをしたり、身体に触れ合うゲームやダンスを通して距離を縮めていきました。
 園児との交流を通して、心身の発達段階や個々の個性を理解し、保育者の立場で子どもを受け入れる様子が見られました。また、給食を一緒に食べることで、幼児食について理解を深めたり、生活の様子を身近に感じることができました。
 家庭科の授業で、牛乳パックを使って変わり絵の実習を行い、作品を園児の前で披露しました。変わり絵カードがぱっと開くと絵が変わるので、園児の視覚や聴覚を刺激し、夢中になってくれました。
 生徒の感想の中には、「交流を通して子どもの素直さや、子どもを育てる大変さを改めて学べた。」「保育士さんは、子どもの様子をよく見ていてほめる時は心からほめ、叱る時はちゃんと叱り、子どもを育てる愛情と責任を感じた。」などいろいろな面に気付く生徒が多くいました。また、普段の学校生活では見ることができないクラスメートの素顔にも触れることができ、体験ならではの学習効果を実感しました。

